

第2回 野々市市都市計画マスタープラン策定委員会 議事要旨

【日 時】 令和 3 年 11 月 15 日 (月) 午前 10 時～11 時 30 分

【場 所】 野々市市交遊舎 ホール

【出席委員】 (○印：委員長)

○ 金沢工業大学	教 授	蜂谷 俊雄
石川県立大学	教 授	一恩 英二
野々市市農業委員会	会 長	佛田 利弘
野々市市商工会	副 会 長	北村 恒
野々市市女性協議会	会 長	澤村 昭子
野々市市連合町内会	会 長	山岸 富明
石川県土木部都市計画課 課長代理	課 参 事	高橋 雅憲
野々市市	副 市 長	山口 良

【事 務 局】

野々市市土木部	部 長	中藪 孝志
野々市市土木部都市計画課	課 長	石畝 朋宏
野々市市土木部都市計画課	課長補佐	西村 裕之
野々市市土木部都市計画課	課長補佐	本吉 信弥
野々市市土木部都市計画課	係 長	前川 和寛
野々市市土木部都市計画課	主 査	山下 泰士
野々市市土木部都市計画課	技 師	船山 晃司

株式会社国土開発センター 森川、中宮

敬称略

(1) 市民アンケート結果、都市づくりの課題と目標について

- ・農地についてのアンケートにおける「農地」の対象範囲はどのような想定をされているか。今般、市街地内の農地の扱いについて議論されており、農業サイドでも重要視している。
⇒アンケートでは対象の農地の範囲は限定しないため、市民のお住まいの周辺の農地について回答いただくことを想定した。(事務局回答)

(2) 将来都市像について

- ・情報や通信に関する項目については、方向性だけでも触れておく方が良い。
- ・デジタル社会について、どこの自治体でも重要項目となっている。加賀市ではスマートシティ構想がある。各自治体の取り組みを調べてほしい。デジタル社会においてどのような取り組みを行うかを市民に伝える必要がある。
- ・情報やコミュニケーションに関する方針が記述されていない。今後の時代は情報が経済を回していく。従来の考え方でハード系の内容についてはこれでも良いが、情報・通信系をもう少し反映するべき。
- ・市街地内の農地について、農業用水路としての機能だけではなく、環境、景観、防災の観点においても検討が必要である。
- ・農地全体が緑地であるため、CO2削減やSDGsなどを踏み込んで記載してほしい。それにより、農業サイドがどのように協力したらよいか分かる。
- ・都市機能集積ゾーンについて、本町地区周辺に位置付けられているが、本町地区はドーナツ化現象が進展しており、都市化や中心都市というのは何を根拠に設定しているか。
⇒都市機能集積ゾーンは、中心都市拠点としてカミーノやカレード周辺を主として位置付けており、当該エリアにおいて、商業機能の集積や本町通りのイベント等により賑わいを創出することで、市全体に波及していくことを望んでいる。(事務局回答)
- ・本町地区での賑わい創出、経済活性化について行政として支援は考えているか。
⇒関係課では検討を進めている。(事務局回答)
- ・野々市中央公園は、健康レクリエーション・防災拠点に位置付けられているが、緑の拠点にも関係している。施設は1つの機能だけではなく、多面的な機能を有するものもあるため、1つの視点だけではなく、関連性を意識する必要がある。
- ・IoT、ICTの活用について、他都市では都市計画分野においてどのような取り組みがあるのか。特に防災面においてIoT技術の活用が必要であると考えられるため、調べて欲しい。
- ・野々市市では、用水が河川の役割(帯水の役割)をしている箇所が多いため、水のネットワークとして景観や親水機能にも寄与するものであり、河川と区別せずに整備が必要である。
- ・環状緑地軸が大まかであるが、具体的な路線等は想定されているか?
⇒川沿いの緑道や、幹線道路沿いの街路樹のある歩道を軸として結ばれるように想定している。
(事務局回答)

(3) 都市整備方針について

- ・生物多様性に関する方針を反映してほしい。緑地にも関係する。水生生物が移動できるような河川や水路の整備が必要である。水のネットワークに関連する。そのような環境保全や環境整備などの側面を反映してほしい。

(4) 緑の基本計画について

- ・緑というのはひとつの樹種だけではないため、色々と違いがあり愛でることもできる。既存の樹種をどうこうすることはできないが、新たに整備をする際にはテーマ性を持って樹種を決めていくという姿勢も重要である。
- ・市街地内には農地が依然として存在している。CO2削減が社会問題となっている。公園・緑地にCO2削減に寄与する植物を植えるといった工夫を盛り込んではどうか。
- ・公園の管理について、住民が参加できるような方法を構築する必要がある。市民協働の関わり方を具体的に明示してほしい。そうすれば、住民が緑化に関心を持つことができる。
- ・一人あたり都市公園面積の目標は示されているか？
⇒目標については今後検討を行う。(事務局回答)
- ・公園緑地の管理について、市民参加は健康増進という点からもメリットも大きく、行政コストの削減等にも寄与するので、検討してほしい。
- ・樹種の選定に関して、生物多様性の観点から外来種ではなく在来種を選定する必要がある。専門家に相談してもらいながら決めていくことが重要である。

(5) その他の会議全体の追加質問

- ・次回の地域別構想の検討に際して、空き家の分布状況、緊急輸送道路の指定状況、広域避難場所の公園の指定状況に関する資料を準備してもらいたい。
- ・防災という点では、災害の種類に応じた施設の機能を検討する必要がある。

以上